

取組点検指標を用いた取組確認結果（尾張地域）

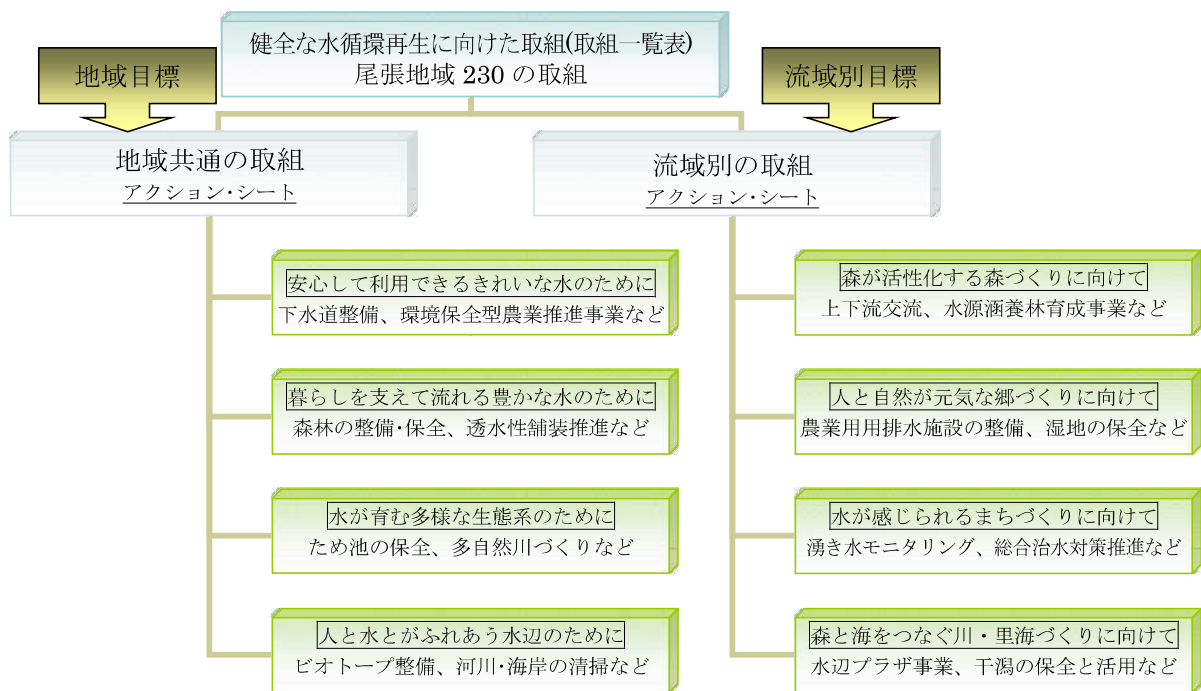
1 背景

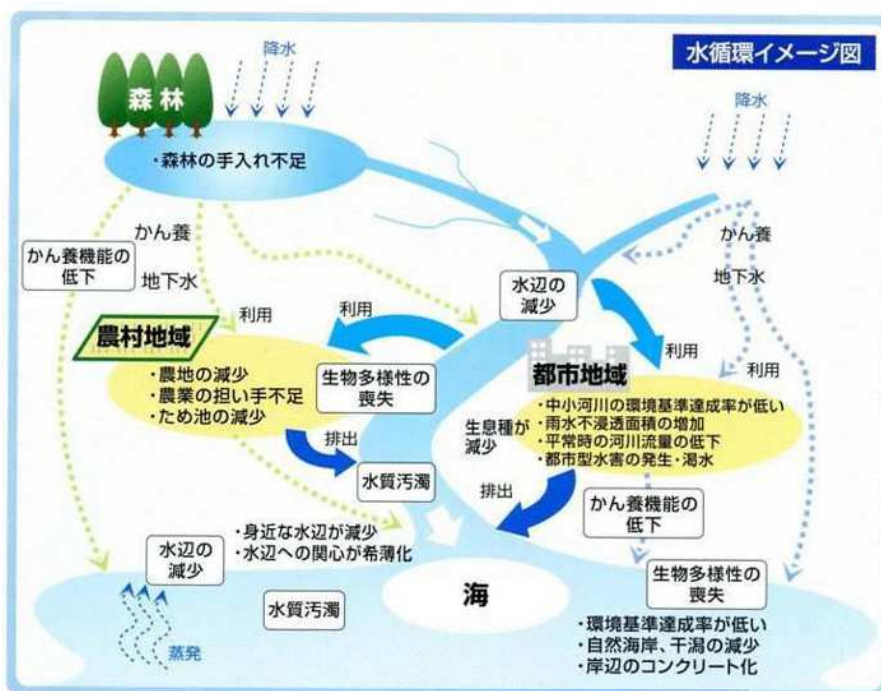
尾張地域水循環再生地域協議会では、行動計画の進捗状況を把握・点検するため、2008 年度に「取組点検指標」を取りまとめ、2009 年度から取組状況の確認を行っています。

「取組点検指標」は、地域で広く実施されている基盤的な取組である「地域共通の取組」と、地域に根ざした取組である「流域別の取組」が設定されています。

さらに、「地域共通の取組」は、水循環の機能である「きれいな水」、「豊かな水」、「多様な生態系」及び「ふれあう水辺」の 4 項目が、「流域別の取組」は、水循環再生に向けた取組テーマである「森づくり」、「郷づくり」、「まちづくり」及び「川、里海づくり」の 4 項目が設定されています。

【取組点検指標の概念】





水循環のイメージ

水循環の機能で連携

上流から下流まで流域の全体にわたって、水循環の機能で連携した総合的な取組を実施。

- ①「きれいな水」のための取組
- ②「豊かな水」のための取組
- ③「多様な生態系」のための取組
- ④「ふれあう水辺」のための取組

テーマで連携

水循環の再生につながる特定のテーマごとに関連する様々な対策を連携させることにより、対策相互の相乗効果や波及効果を生かして総合的な取組を実施。

- ①森林の整備・保全の取組
- ②農地保全の取組
- ③まちづくりの取組
- ④海づくりの取組

① きれいな水

② 豊かな水

③ 多様な生態系

④ ふれあう水辺

① 森林の整備・保全

② 農地保全

③ まちづくり

④ 海づくり

取組活性化のための方策

取組全体の活性化と効果的な推進を図ります。

- ・環境学習の推進
- ・情報の共有化
- ・県民・事業者・民間団体・行政等の協働
- ・取組の検証・拡充

健全な水循環を取り戻す取組の方向性

2 尾張地域（流域別を含む）の取組点検指標及び取組実績（2024年度）

- ・尾張地域水循環再生地域協議会構成員 53 団体により、健全な水循環機能を取り戻すため様々な取組が実施されました（取組集計結果は別表参照）。
- ・地域共通の取組については、「きれいな水」の代表的な取組である、生活排水処理施設の整備（下水道の整備等）が進んだことにより、汚水処理人口普及率が年々上昇しています。また、下水道施設の高度処理の導入も進んでいます。
- ・流域別の取組については、清掃活動や森林の整備、貯留浸透施設の設置などが実施されています。昨年度（2024年度）より、木曾川・庄内川等流域の新たな取組として、「森林資源を活用したローカル SDGs 推進事業（名古屋市）」が実施されています。

3 地域共通の取組の進捗確認

水循環再生行動計画（第4次）では、取組の進捗状況が示せるよう、地域共通の取組に目標値が設定されています。

（進捗状況）

- ・生活排水処理施設の整備（目標値：100%）は、目標年度(2030)に向け整備が着実に進んでいます。
- ・雨水浸透施設等の設置や透水性舗装の整備、ため池の保全などは、継続的に実施されています。
- ・河川の環境基準の達成率は、目標(100%)を達成しましたが、海域は目標(100%)を達成しませんでした。
- ・水生生物調査の実施箇所数は減少し、目標値(前年増)を達成しませんでした、延べ参加人数は増加し、目標値(前年増)を達成しました。
- ・流域モニタリング一斉調査の実施箇所数は増加し、目標値(前年増)を達成しましたが、延べ参加人数は減少し、目標値(前年増)を達成しませんでした。

4 その他

今年度新たにアクションシートに追加する取組はありません(2026年1月28日時点)。

尾張地域 地域共通の取組点検指標及び取組実績

めざす姿	指標とする取組 取組内容	実績										目標値	目標年度	指標の説明	
		2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度				
きれいな水	生活排水処理施設の整備 汚水処理全体	汚水処理人口普及率(%)										汚水処理人口普及率(%)	100%	2030	汚水処理人口/行政人口×100
	・下水道、集落排水、合併処理浄化槽など地域の実情に応じた汚水処理施設の整備により、生活環境の改善、公共用水域の水質保全を図る。	89.2%	90.1%	90.5%	91.3%	91.6%	92.0%	92.4%	92.9%	93.2%	93.7%				
	下水道の整備	下水道普及率(%)										下水道普及率(%)	97.7%	2030	下水道処理人口/行政人口×100
	・生活環境の改善、公共用水域の水質保全のため下水道整備を推進する。	77.6%	78.4%	79.2%	80.1%	80.5%	81.1%	81.6%	82.0%	82.4%	82.9%				
	高度処理施設の導入(下水道整備の内)	高度処理人口普及率(%)										高度処理人口普及率(%)	100%	2025	高度処理人口/行政人口×100
	・伊勢湾と三河湾の富栄養化を防止するため、下水道施設の高度処理化を行う。	25.0%	25.6%	30.4%	31.0%	30.2%	32.2%	32.6%	32.9%	34.3%	34.6%				
	農業集落排水施設の保全、管理	農業集落排水処理人口普及率(%)										農業集落排水処理人口普及率(%)	1.0%	2030	農業集落排水処理人口/行政人口×100
	・農業集落における尿、生活雑排水等の汚水を処理する施設を保全、維持し、農業用排水の水質保全、農業用排水施設の機能維持、及び農村生活環境の改善を図り、併せて公共用水域の水質保全を図る。	1.1%	1.1%	1.1%	1.1%	1.0%	1.0%	0.9%	0.9%	0.9%	0.9%				
	合併処理浄化槽の設置	合併処理浄化槽処理人口普及率(%)										合併処理浄化槽処理人口普及率(%)	—	—	合併処理浄化槽設置済人口/行政人口×100
	・既設の単独処理浄化槽について、地域の実情に応じ、合併処理浄化槽への転換の促進を図る。併せて窒素、リンが削減できる高度処理型の浄化槽の普及を推進する。	10.3%	10.4%	10.2%	10.0%	9.9%	9.8%	9.8%	9.8%	9.7%	9.8%				
		合併処理浄化槽の基数割合(%)										合併処理浄化槽の基数割合(%)	100%	2030	合併処理浄化槽基数/全浄化槽基数×100
		34.3%	36.3%	37.6%	38.6%	39.5%	40.2%	41.3%	42.1%	43.6%	集計中				
	コミュニティプラントの整備	コミュニティプラント処理人口普及率(%)										コミュニティプラント処理人口普及率(%)	0.13%	2030	コミュニティプラント処理人口/行政人口×100
	・コミュニティプラントの整備及び適正な維持管理を推進する。	0.1%	0.13%	0.13%	0.13%	0.13%	0.13%	0.13%	0.13%	0.12%	0.11%				
	河川等公共用水域水質監視	河川(BOD)の環境基準達成率(%)										河川(BOD)の環境基準達成率(%)	100%	毎年	・河川BODは尾張地域のみの環境基準達成率
・公共用水域及び地下水の水質常時監視を実施する。	100%	93.3%	100%	100%	86.7%	100.0%	100%	100%	93%	100%					
	海域(COD)の環境基準達成率(%)										海域(COD)の環境基準達成率(%)	100%	毎年	・海域CODは伊勢湾(狭義)のみの環境基準達成率	
	75%	50%	25%	50%	25%	50%	25%	25%	25%	25%					
水生生物調査	実施箇所数										実施箇所数	前年増	単年	水生生物調査の実施箇所数、延べ参加人数	
・身近な自然とふれあうことで、環境問題への関心を高めるとともに広く水環境保全の普及啓発を実施する。	29箇所	38箇所	47箇所	33箇所	38箇所	—	—	28箇所	21箇所	20箇所					
	延べ参加人数(人)										延べ参加人数(人)	前年増	単年		
	1,290人	2,122人	2,223人	1,768人	4,277人	—	—	1,016人	470人	626人					
流域モニタリング一斉調査	実施箇所数										実施箇所数	前年増	単年	流域モニタリング一斉調査の実施箇所数、延べ参加人数	
・住民と行政が連携、協働し、森から海まで流域全体を視野に入れた水環境に関するモニタリングを実施する。	88箇所	89箇所	91箇所	95箇所	93箇所	92箇所	93箇所	84箇所	106箇所	107箇所					
	延べ参加人数(人)										延べ参加人数(人)	前年増	単年		
	660人	592人	648人	592人	371人	289人	274人	399人	493人	489人					
伊勢湾再生推進会議(関係機関との連携強化)	施策実施状況(件)										施策実施状況(件)	継続実施	継続実施	各機関の施策実施状況	
・伊勢湾とその流域の再生のための行動計画の策定と推進、各事業主体の施策の実施、河川・湖沼・海岸等での水質調査、簡易水質テスト、ごみ調査、生物調査、清掃活動の実施	217件	218件	219件	219件	219件	219件	219件	221件	221件	221件					
河川・海岸の清掃	実施回数(回)										実施回数(回)	前年増	単年	構成員が主催する河川又は海岸の清掃活動の実施回数、実施箇所数、延べ参加人数	
・きれいな川と海を次世代へ残すために地域住民・自治体・国が一体となって清掃活動を行う。また、河川、水路及びため池の環境を守り向上させるために、啓発活動と美化活動を行う。	851回	869回	781回	590回	616回	646回	660回	661回	551回	532回					
	実施箇所数										実施箇所数	前年増	単年		
	196箇所	181箇所	179箇所	88箇所	80箇所	68箇所	93箇所	114箇所	129箇所	112箇所					
	延べ参加人数(人)										延べ参加人数(人)	前年増	単年		
	56,122人	52,811人	44,281人	20,757人	22,615人	8,140人	8,722人	16,278人	23,324人	18,357人					

めざす姿	指標とする取組		実績									目標値	目標年度	指標の説明	
	取組内容		2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度				2024年度
豊かな水	森林整備の促進		間伐面積(ha)									間伐面積(ha)	4,000ha (県域)	2016 ~2020	間伐を実施した面積
	・森林が有する水源の涵養などの多面的機能を十分に発揮させるため、森林の適切な保全管理を行う。		105ha	109ha	19ha	21ha	30ha	25ha	40ha	19ha	20ha	28ha			
	雨水浸透施設等の設置(浄化槽の転用を含む)		雨水貯留施設の設置数									雨水貯留施設の設置数	継続 実施	単年	・構成員が施工した公共施設等における雨水貯留施設の設置数 ・地域住民が行う雨水貯留浸透施設(浄化槽転用貯留槽、雨水貯留浸透施設、雨水浸透ます、雨水浸透管・側溝、透水性舗装など)の設置に補助した件数
	・降雨時における雨水流出抑制を図ることにより河川などの洪水を軽減するとともに、公共下水道接続時に不用となる浄化槽を雨水貯留施設へ転用することで、雨水の有効利用及び地下水の涵養を図る。		214箇所	204箇所	65箇所	98箇所	94箇所	90箇所	95箇所	89箇所	92箇所	142箇所			
	透水性舗装の推進		雨水貯留浸透施設設置補助件数									雨水貯留浸透施設設置補助件数	継続 実施	単年	構成員が施工した透水性舗装の面積
・雨水を地中に浸透させ、都市の水循環をより自然なものに近づけ、雨水流出抑制と地表面の温度低下によるCO2削減など環境に配慮したまちづくりを行う。		319件	286件	149件	105件	132件	117件	121件	229件	167件	234件				
ため池の保全		整備箇所数									整備箇所数	継続 実施	単年	構成員が整備したため池の箇所数	
・近年の都市化の進展などによりため池を取り巻く環境の悪化や、ため池の減少など様々な課題に対応するため、県が策定した「愛知県ため池保全構想(H19.3)」に基づき、ため池が持つ多面的機能を維持・増進する。		25箇所 (16箇所 継続)	36箇所 (21箇所 継続)	28箇所	26箇所	25箇所	26箇所	30箇所	37箇所	32箇所	31箇所				
多様な生態系	多自然川づくり		整備延長(km)									整備延長(km)	継続 実施	単年	県内全域での実績
	・河川全体の営みを視野に入れ地域の歴史文化との調和に配慮し、河川が本来有している生物の生息・生育・繁殖環境及び多様な河川景観を保全・創出する。		3.3km	1.0km	0.9km	0.9km	1.3km	2.2km	4.0km	4.0km	2.0km	3.0km			
	ため池の保全(再掲「豊かな水」)		整備箇所数									整備箇所数	継続 実施	単年	構成員が整備したため池の箇所数
	・近年の都市化の進展などによりため池を取り巻く環境の悪化や、ため池の減少など様々な課題に対応するため、県が策定した「愛知県ため池保全構想(H19.3)」に基づき、ため池が持つ多面的機能を維持・増進する。		25箇所 (16箇所 継続)	36箇所 (21箇所 継続)	28箇所	26箇所	25箇所	26箇所	30箇所	37箇所	32箇所	31箇所			
	ビオトープ整備		整備箇所数									整備箇所数	継続 実施	単年	構成員が整備したビオトープの箇所数
	・動植物の多様な生息場所を確保することにより、地域環境の向上と人間と自然との共生を図る。		5箇所	1箇所	0箇所	0箇所	0箇所	1箇所	1箇所	1箇所	0箇所	1箇所			
	水生生物調査(再掲「きれいな水」)		実施箇所数									実施箇所数	前年増	単年	水生生物調査の実施箇所数、延べ参加人数
	・身近な自然とふれあうことで、環境問題への関心を高めるとともに広く水環境保全の普及啓発を実施する。		29箇所	38箇所	47箇所	33箇所	38箇所	-	-	28箇所	21箇所	20箇所			
	河川・海岸の清掃(再掲「きれいな水」)		実施回数(回)									実施回数(回)	前年増	単年	構成員が主催する河川又は海岸の清掃活動の実施回数、実施箇所数、延べ参加人数
	・きれいな川と海を次世代へ残すために地域住民・自治体・国が一体となって清掃活動を行う。また、河川、水路及びため池の環境を守り向上させるために、啓発活動と美化活動を行う。		851回	869回	781回	590回	616回	646回	660回	661回	551回	532回			
多自然川づくり(再掲「多様な生態系」)		整備延長(km)									整備延長(km)	前年増	単年	構成員が主催する河川又は海岸の清掃活動の実施回数、実施箇所数、延べ参加人数	
・河川全体の営みを視野に入れ地域の歴史文化との調和に配慮し、河川が本来有している生物の生息・生育・繁殖環境及び多様な河川景観を保全・創出する。		3.3km	1.0km	0.9km	0.9km	1.3km	2.2km	4.0km	4.0km	2.0km	3.0km				
河川・海岸の清掃(再掲「きれいな水」)		実施回数(回)									実施回数(回)	前年増	単年	構成員が主催する河川又は海岸の清掃活動の実施回数、実施箇所数、延べ参加人数	
・きれいな川と海を次世代へ残すために地域住民・自治体・国が一体となって清掃活動を行う。また、河川、水路及びため池の環境を守り向上させるために、啓発活動と美化活動を行う。		851回	869回	781回	590回	616回	646回	660回	661回	551回	532回				
ふれあう水辺		実施箇所数									実施箇所数	前年増	単年	構成員が主催する河川又は海岸の清掃活動の実施回数、実施箇所数、延べ参加人数	
・身近な自然とふれあうことで、環境問題への関心を高めるとともに広く水環境保全の普及啓発を実施する。		29箇所	38箇所	47箇所	33箇所	38箇所	-	-	28箇所	21箇所	20箇所				
ふれあう水辺		延べ参加人数(人)									延べ参加人数(人)	前年増	単年	構成員が主催する河川又は海岸の清掃活動の実施回数、実施箇所数、延べ参加人数	
・身近な自然とふれあうことで、環境問題への関心を高めるとともに広く水環境保全の普及啓発を実施する。		1,290人	2,122人	2,223人	1,768人	4,277人	-	-	1,016人	470人	626人				
ふれあう水辺		実施回数(回)									実施回数(回)	前年増	単年	構成員が主催する河川又は海岸の清掃活動の実施回数、実施箇所数、延べ参加人数	
・きれいな川と海を次世代へ残すために地域住民・自治体・国が一体となって清掃活動を行う。また、河川、水路及びため池の環境を守り向上させるために、啓発活動と美化活動を行う。		851回	869回	781回	590回	616回	646回	660回	661回	551回	532回				
ふれあう水辺		実施箇所数									実施箇所数	前年増	単年	構成員が主催する河川又は海岸の清掃活動の実施回数、実施箇所数、延べ参加人数	
・きれいな川と海を次世代へ残すために地域住民・自治体・国が一体となって清掃活動を行う。また、河川、水路及びため池の環境を守り向上させるために、啓発活動と美化活動を行う。		196箇所	181箇所	179箇所	88箇所	80箇所	68箇所	93箇所	114箇所	129箇所	112箇所				
ふれあう水辺		延べ参加人数(人)									延べ参加人数(人)	前年増	単年	構成員が主催する河川又は海岸の清掃活動の実施回数、実施箇所数、延べ参加人数	
・身近な自然とふれあうことで、環境問題への関心を高めるとともに広く水環境保全の普及啓発を実施する。		56,122人	52,811人	44,281人	20,757人	22,615人	8,140人	8,722人	8,722人	23,324人	18,357人				
ふれあう水辺		実施回数(回)									実施回数(回)	前年増	単年	構成員が主催する河川又は海岸の清掃活動の実施回数、実施箇所数、延べ参加人数	
・きれいな川と海を次世代へ残すために地域住民・自治体・国が一体となって清掃活動を行う。また、河川、水路及びため池の環境を守り向上させるために、啓発活動と美化活動を行う。		851回	869回	781回	590回	616回	646回	660回	661回	551回	532回				
ふれあう水辺		実施箇所数									実施箇所数	前年増	単年	構成員が主催する河川又は海岸の清掃活動の実施回数、実施箇所数、延べ参加人数	
・きれいな川と海を次世代へ残すために地域住民・自治体・国が一体となって清掃活動を行う。また、河川、水路及びため池の環境を守り向上させるために、啓発活動と美化活動を行う。		196箇所	181箇所	179箇所	88箇所	80箇所	68箇所	93箇所	114箇所	129箇所	112箇所				
ふれあう水辺		延べ参加人数(人)									延べ参加人数(人)	前年増	単年	構成員が主催する河川又は海岸の清掃活動の実施回数、実施箇所数、延べ参加人数	
・身近な自然とふれあうことで、環境問題への関心を高めるとともに広く水環境保全の普及啓発を実施する。		56,122人	52,811人	44,281人	20,757人	22,615人	8,140人	8,722人	16,278人	23,324人	18,357人				

尾張地域 流域別の取組点検指標及び取組実績

流域名	テーマ区分	指標とする取組		実施機関名(構成員名)	実績								
		取組内容			2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2022年度	2023年度	2024年度
<p>日光川等流域</p> <p>【課題】 ○全般的に顕著な護岸が あることから、自然に託 した多自然川づくりが 必要である。 ○農地の保全と市街地 における雨水浸透施設 など地下水から薬の充 実が必要である。 ○河口域の大規模なヨ ン原は生物の生育・生 息環境を形成している ことから、これらの保全 が必要である。</p> <p>【目標】 ☆田圃や街など、周辺 環境と調和した水辺景 観の創出・維持 ○自然や親水性に配慮 した川や水辺の整備と 清掃など水辺環境の改 善による、人に親しみ やすい水辺や景観を維持 ○下水道域に付してい るヨン原など、この流域 に貴重な水辺の自然の 保全</p>	森づくり	なごや西の森づくり ・「なごや西の森づくり計画書」に基づき、市民(戸田川みどりの夢くらぶ)、企業、行政の協働で「なごや西の森づくり」を推進する。 ・森の成長にあわせた森の手入れ、森や水辺の観察、調査、クラフトづくり等森での体験イベントを実施する。	名古屋市長	市民の参加者数 3,500人 繰上未読 100本	3,400人	1,500人	3,156人	2,157人	1,864人	1,546人	1,432人	310人	
	郷づくり	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	まちづくり	合流式下水道の改善 ・合流式下水道の改善のため、吐き口対策スクリーン、遮集管、雨水貯留施設等の設置を行う。	名古屋市長 事業完了)一宮市、津島市	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
		浄化槽の適切な維持管理 ・浄化槽の適切な維持管理について、啓発を行う。	あま市、蟹江町	【蟹江町】 町の広報誌に浄化槽の適 正な維持管理についての 啓発文を掲載した。	【あま市、蟹江町】 広報誌に浄化槽の適正な 維持管理についての啓発 文を掲載した。	—	—	—	—	【あま市】 広報誌にて浄化槽の適正管理 について啓発 【蟹江町】 ホームページでの啓発	【あま市】広報誌にて浄化 槽の適正管理について啓 発	【あま市】広報誌にて浄 化槽の適正管理について 啓発	【あま市】広報誌にて浄 化槽の適正管理について 啓発
		合併処理浄化槽の設置整備 ・浄化槽を設置することにより生活環境の悪化を防止し、水質浄化を図る。 ・町内を「対象地域」と「特例地」に分けて合併処理浄化槽の設置の推進を行う。	蟹江町	52件	31件	—	—	41件	24件	—	73件	21件	
		水質環境目標値市民モニターリング ・市内の河川、ため池において、透明度、水の色、水におい、ゴミ及び水量(河川のみ)について、市民モニターが年4回調査を実施。 ・調査結果を名古屋市に提出してもらい、それをとりまとめて、名古屋市が公表。	名古屋市	175人	175人	137人	137人	134人	140人	152人	154人		
		水生生物調査 ・身近な自然とふれあうことで、環境問題への関心を高めるとともに広く水環境保全の普及啓発を実施する。	流域市町、県水大気環境課 (※報告機関:県水大気環境課)	0箇所	2箇所	5箇所	5箇所	2箇所	—	0箇所	1箇所	0箇所	
		三宅川の清掃活動 ・河川の清掃を行う。	福沢市	0人	48人	16人	10人	39人	—	0人	2人	0人	
		大江川・蟹江川の清掃活動 ・河川の清掃を行う。	あま市、蟹江町	1回	3回	1回	—	3回	—	1回	4回	4回	
		蟹江川の清掃活動等 ・河川の清掃を行う。	蟹江町	2箇所	2箇所	—	—	2箇所	—	2箇所	2箇所	2箇所	
				453人	455人	—	—	200人	—	117人	300人	250人	

流域名	テーマ区分	指標とする取組		実績									
		取組内容	実施機関(構成員名)	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2022年度	2023年度	2024年度	
日光川等流域	川・里海づくり	大江川クリーン作戦【2022終了】	一宮市	実施回数(回)								実施回数(回)	
		雨天中止		1回	1回	1回	1回	中止	-	-	-		
		実施箇所数								実施箇所数			
		雨天中止		1箇所(2.0km)	1箇所(2.0km)	1箇所(2.0km)	1箇所(2.0km)	-	-	-	-		
		河川の清掃を行う。		参加人数(人)								参加人数(人)	
		雨天中止	約800人	約800人	約600人	約600人	-	-	-	-			
		水辺スポットの整備		排水施設面積(ha)								排水施設面積(ha)	
		1ha	0.2ha	-	-	0.1863ha	-	-	-	0.1863ha	0.1863ha		
		・高水敷、敷設路、護岸、休憩施設、防護策等の整備		整備箇所数								整備箇所数	
		1箇所	-	-	-	-	-	-	-	0箇所	0箇所		
水質環境目標値市民モニタリング(再掲)		モニター登録人数								モニター登録人数			
・市内の河川、ため池において、透視度、水の色、水におい、ゴミ及び水量(河川のみ)について、市民モニターが年4回調査を実施。 ・調査結果を名古屋市中に提出してもらい、それをとりまとめて、名古屋市が公表。		名古屋市	175人	175人	137人	137人	134人	140人	152人	154人			
夏・秋・冬・春:35グループ142名、 冬・春:34グループ140名参加 ※前記コロナウイルスの影響により春季調査は中止													
木曾川・庄内川等流域	森づくり	水質調査実施	愛知用水土地改良区	整備面積(ha)								整備面積(ha)	
		・育樹祭でヒノキの間伐等を行う。		0.4ha	0.4ha	-	0.02ha	0.02ha	-	0.02ha	0.02ha		
		灌漑設備		参加人数(人)								参加人数(人)	
		・水源保全の大切さを理解するため、市民などととも上流域で樹木や間伐などの保全活動を行う。		名古屋市	85人	88人	87人	101人	151人	0人	59人	52人	63人
		森林資源を活用したローカルSDGs推進事業		参加人数(人)								実施回数(回)	
		・本市の水源地の一つである長野県木曽川と連携し、森づくりや木材の利用を促進することにより、本市の環境課題の解決や上流域の自治体の地域活性化等に繋げ、都市と地方が輝かし、支えあう持続可能な地域循環共生圏(ローカルSDGs)を推進する。		名古屋市	-	-	-	-	-	-	-	-	1
		総合治水対策の推進【2018終了】		取組件数								取組件数	
		・宅地化が進み、雨水不浸透面積が増大したことから、洪水対策と環境への負荷軽減を目的として、水田の復活を防止するための助成を行う。		扶桑町	238件	380件	364件	376件	365筆/226人	-	-	-	
		自然生態調査		実施回数(回)								実施回数(回)	
		・都市化の進展とともに農地の転用が進み、身近な自然が次々と失われていく状況の中、市内で一番重要な自然の文化財である北島町津島神社の編守の森周辺を、自然を生かした「ビオトープ公園」として整備し、保全・活用する。		岩倉市	9,733人	9,844人	9,759人	-	8,913人	7,539人	7,932人	7,018人	6,885人
湿地・渾原の保全		実施回数(回)								実施回数(回)			
・除伐・下草刈りなど湿地・渾原の保全整備を行う。		春日井市	1回	1回	1回	1回	1回	2回	2回	2回			
合流式下水道の整備		実施内容								実施内容			
・合流式下水道の改善のため、吐き口対策スカーン、遠集管、雨水貯留施設等の設置を行う。		名古屋市 事業完了、一宮市	【名古屋市】 ・雨水貯留施設:2カ所(整備中) ・簡易処理高度化施設:3カ所(整備中)	【名古屋市】 ・雨水貯留施設:1ヶ所(整備中) ・簡易処理高度化施設:2ヶ所(整備中)	【名古屋市】 ・雨水貯留施設 1箇所(整備中) ・簡易処理高度化施設 4箇所(整備中2、完了2)	【名古屋市】 ・雨水貯留施設 1箇所(整備中) ・簡易処理高度化施設 2箇所(整備中1、完了1)	【名古屋市】 雨水溜水池の建設 1箇所 簡易処理高度化施設の設置 1箇所 ごみ除去装置の設置 7箇所 雨水スクリーンの目幅縮小 2箇所(整備中)	【名古屋市】 簡易処理高度化施設の設置 1箇所(整備中) ごみ除去装置の設置 10箇所 雨水スクリーンの目幅縮小 3箇所(整備中)	【名古屋市】 簡易処理高度化施設の設置 2箇所(整備中) きょう雑物除去装置の設置 2箇所 雨水スクリーン目幅縮小 5箇所(整備中2箇所・整備完了3箇所) 雨水幹線1箇所(整備中)				

【課題】
○庄内川上流では環境整備が進んでいないこと、庄内川下流では、生物の生息環境や水に頼る観点から改善が求められる。
○庄内川は河川の標高が低く、生物の生息環境が劣化していること、都市化による自然の喪失や、生息環境の改善を促す必要がある。
○新川流域では非かんがい期に発生する水質の改善と雨水による地下水かん養が必要である。
○養魚用水池では河川の汚染防止の観点から、水質環境への配慮が求められる。
○水質等の改善により魚が見られ人が親しめる身近な水辺の創造
○都市域において生物が豊かな干潟やヨシ原などの保全

流域名	テーマ区分	指標とする取組	実施機関名(構成員名)	実績								
		取組内容		実績								
				2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2022年度	2023年度	2024年度
木曾川・庄内川等流域	まちづくり	特定種河川浸水被害対策法等に基づく取組	名古屋市長、一宮市長、春日井市長、犬山市、江南市、小牧市、稲沢市、碧南市、清須市、北名古屋市、豊山町、大口町、扶桑町、あま市、大治町、愛知南(※報告機関: 東河川課)	実施内容								
		・新川流域において、流域水害対策計画に基づき総合治水対策を推進。 ・流域対策として、流水貯留浸透施設の設置を行う。		・貯留施設: 13,414㎡ ・透水性舗装: 106,615㎡ ・浸透トレンチ: 1,450m ・浸透柵: 121個	・貯留施設: 18,035㎡ ・透水性舗装: 120,767㎡ ・浸透トレンチ: 1,886m ・浸透柵: 133個	・貯留施設: 27,613㎡ ・透水性舗装: 125,854㎡ ・浸透トレンチ: 2,703m ・浸透柵: 267個	・貯留施設: 55,975㎡ ・透水性舗装: 139,412㎡ ・浸透トレンチ: 1,178m ・浸透柵: 94個	・貯留施設: 42,419㎡ ・透水性舗装: 172,037㎡ ・浸透トレンチ: 2,148m ・浸透柵: 113個	—	・貯留施設: 1,287㎡ ・透水性舗装: 5,425㎡ ・浸透柵: 29個	・貯留施設: 31,824㎡ ・透水性舗装: 175,926㎡ ・浸透柵: 25個	・貯留施設: 38,584㎡ ・透水性舗装: 124,068㎡ ・浸透柵: 79個
		水質環境目標値市民モニタリング(再掲)		モニター登録人数								モニター登録人数
		・市内の河川、ため池において、透明度、水の色、水におい、ゴミ及び水量(河川のみ)について、市民モニターが年4回調査を実施。 ・調査結果を名古屋市に提出してもらい、それをとりまとめて、名古屋市が公表。		175人	175人	137人	137人	134人	夏季・秋季: 35グループ142名 冬季: 34グループ140名参加 ※新型コロナウイルスの影響により春季調査は中止	140人	152人	154人
		湧き水モニタリング		モニター登録人数								モニター登録人数
		・水循環の一つの指標と考えられる湧き水の状況や、市民と協働で把握し、水循環に対する市民の関心を高め、行動へのきっかけとする。		34人	34人	35人	33人	33人	10グループ41名参加 ※新型コロナウイルスの影響により春季調査は中止	47人	47人	46人
		遊歩道・サイクリングロード整備事業		実施内容								実施内容
		・堤防及び高水敷等において、遊歩道・サイクリングロードを整備する。		【一宮市】 ・親水施設面積: 0.26ha ・整備箇所数: 1箇所	【一宮市】 ・木曾川沿川緑地整備: 0.27ha	【一宮市】 ・青木川河川敷公園: 0.14ha	【一宮市】 ・青木川河川敷公園: 0.20ha	【一宮市】 ・青木川河川敷公園: 0.22ha	【一宮市】 ・青木川河川敷公園: 0.26ha	【一宮市】 ・青木川河川敷公園: 0.43ha	【一宮市】 ・青木川河川敷公園: 0.11ha	【一宮市】 ・青木川河川敷公園: 0.08ha
		矢田川河川緑地整備事業		整備面積(ha)								整備面積(ha)
		・身近な水辺の親水性の向上づくりを図るため、矢田川河川敷の散策路整備を推進する。		0.126ha	0.094ha	—	0.10ha	0ha	0.05ha	0ha	0.0815ha	0ha
	川・里海づくり	川・里海づくり	瀬川の総合整備	瀬川整備延長(m)								瀬川の整備率(%)
	・「うるおいと活気の都市輪・堀川」を再びよみがえらせるという目標を達成するため、堀川でマイタウン・マイリバー堀川整備事業を推進する。 ・また、健全な水循環系の構築が重要であることに鑑み、生物多様性の確保と自然の豊かな憩い活動の場の確保を目的として、水質及び水量の改善を図る。		10,922m	11,385m	11,882m	40%	41%	45%	74%	74%	77%	
	緑水護岸の整備		整備箇所数								整備箇所数	
	・地域の住民が水辺に近づいたり、子供達が水辺で遊んだり出来るようにするための親水性の護岸の整備を図る。 ・水辺の美観、総合学習の会場、水生生物調査の場としての整備。		—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	緑地整備事業(中川運河緑地)		緑地整備面積(ha)								緑地整備面積(ha)	
	・市街地の貴重な水辺空間を活用して、人々が水辺に近づき、憩うことのできる空間として、港と都心を結ぶ快適な水辺環境軸を形成するため、中川運河において緑地を整備する。		約3.9ha (H27までの累計整備面積)	約3.9ha (H28までの累計整備面積)	3.9ha	3.9ha	3.9ha	3.9ha	4.3ha	4.6ha	4.6ha	
	直接浄化施設の運転・管理		年間処理量(m³)								年間処理量(m³)	
	・中川口地区においては、市街地の貴重な水辺空間として、水際遊歩道等の緑地が整備されているが、その前面水域の環境向上を図り快適な水辺空間を創出するため、水質浄化施設により曝気を実施。		約140万m³	約140万m³	約140万m³	約140万m³	約140万m³	約140万m³	140万m³	140万m³	140万m³	
	中川運河水質改善事業		整備状況								整備状況	
	・中川運河の水循環を促進するため、「中川運河再生計画」を策定し、松重ポンプ所の改修、高橋水処理センターの高度処理水の活用、並びに貧酸素化を抑制するための底止深埋戻し(覆砂)などの水質改善事業を実施。		実施回数	2回	—	—	—	—	—	—	—	
・河川の清掃を行う。	実施箇所数	1箇所	—	—	—	—	—	—	—			
	区へ参加人数(人)	106人	—	—	—	—	—	—	—			

流域名	テーマ区分	指標とする取組 取組内容	実施機関名(構成員名)	実績									
				2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2022年度	2023年度	2024年度	
				実績回数(回)				実績箇所数				実績回数(回)	
木曾川・庄内川等流域	川・里海づくり	「合瀬川の清流を取りもどす会」の活動 ・魚が住み水が豊富で豊かな自然を取り戻し、住民の健康で快適な生活ができる環境をつくることを目的として結成された「合瀬川の清流を取りもどす会」において、合瀬川流域の水質の保全と環境の美化に取り組む。 ・生物調査、採水調査、「水辺に親しむ活動」、「河川美化活動」を実施する。	小牧市、大山市、北名古屋市、扶桑町、大口町 (※報告機関・小牧市)	実績回数(回)								実績回数(回)	
				3回	4回	5回	5回	5回	5回	8回	0回	0回	
		水環境目標値市民モニターリング(再掲)	名古屋市	モニター登録人数								モニター登録人数	
				175人	175人	137人	137人	134人	140人	152人	154人		
		藤前干潟でのイベントの実施	名古屋市	参加者数(人)								参加者数(人)	
				383人	515人	583人	978人	933人	200人	3,843人	1,003人	1,173人	
		魚道環境の調査(2017終了)	(矢田・庄内川をきれいにする会) 2017年度まで	実績回数								実績箇所数	
				20回	22回	-	-	-	-	-	-	-	
		船だまり・漁場・稚魚の放流場の整備・清掃	木曾川漁業協同組合	実績箇所数								実績箇所数	
				14箇所	17箇所	17箇所	-	9箇所	8箇所	9箇所	9箇所	9箇所	
【課題】 ○生態系を含めた周辺環境と調和した環境が求められている。	森づくり	水産園芸林育成事業 ・植樹祭でヒノキの苗の植樹・育樹を行う。	愛知用水土地改良区	整備面積(ha)								整備面積(ha)	
				0.4ha	0.4ha	-	0.02ha	0.02ha	-	0.02ha	0.02ha	0.02ha	
		分収造林の整備 ・「森林を守ることと水を守る」ことを目的として、生活用水、工業用水及び農業用水の殆どを木曾川に依存している日進市の費用負担により、味増川ダム左岸の国有林内で分収造林(平成日進の森林)の造林事業を実施。	日進市	育樹参加人数(人)								育樹参加人数(人)	
【目標】 ☆都市を潤し自然と人を育む川 ☆周辺環境と調和した、四季感あふれる散歩道 ○魚が行き交う自然が豊かな川 ○パド・ウォチングや水遊びが楽しめる水辺 ○瀬や淵など変化がある流れ	まちづくり	合流式下水道の改善 ・合流式下水道の改善のため、吐き口対策スクリーン、連集管、雨水貯留施設等の設置を行う。	名古屋市	実施内容								実施内容	
				1ヶ所(整備中)	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		なごや東山の森づくり ・「なごや東山の森づくり基本構想」に基づき、市民(なごや東山の森づくりの会)、企業、行政の協働で「なごや東山の森づくり」を推進する。 ・雑木林や湿地、竹林の手入れ、森の観察や調査、クラブづくり等での体験イベントを実施する。	名古屋市	参加者数(人)								参加者数(人)	
				4,797人	4,995人	4,943人	4,158人	3,764人	3,108人	3,910人	4,847人	4,176人	

